

ダイバーシティ通信

2024
11月号

12/4 (水)~
12/10 (火)

ダイバーシティ週間が、はじまります。

12月4日から10日は本学のダイバーシティ週間です。この1週間は人権週間でもあり、また最終日の10日は世界人権デーです。性別、年齢、人種、文化、障害の有無、性的指向など、多様な背景や特性を持つ人々が存在することを理解し、それぞれの違いを尊重することの大切さを考える1週間にしていただくために、昨年に引き続き、特別プロジェクトを企画しています。

障がい者アート展示 (北方・ひびきの)

障がいのある方の収入向上と、文化芸術活動を通じた社会参加の推進を目的に、福岡県が実施している「障がい者アートレンタル事業」を活用して、学内にアート作品を複数展示します。貸出料金の一部(30%)が作品制作者に還元されます。障害者アートは、パラリンピックや国際的な展示会などを通じて世界的に認知が高まっており、障がいのある人々の文化的な貢献が広く注目されています。

皆様から事前にお寄せいただいた御希望を参考に展示作品を選んでいきます。



2023年度の展示会の様子



障がい福祉事業所 出張販売

日時：12月5、6、9、10日 11:00~13:00

場所：北方キャンパス 地下パーラー前

昨年は市内の障がい福祉事業所がパンや焼き菓子、ポップコーン、雑貨、カレンダーなどのオリジナルの製品を販売していました。

今年も、市内の7事業所にお越しいただきます。今年初めて来られ事業所もありますので、お楽しみに！なお、収入はすべて事業所の運営費になりますので、購入して応援しましょう。気軽に購入しやすい価格帯にしております。



【DE&I 学生プロジェクト企画】 (北方・ひびきの) あなたの“モヤモヤ”教えて

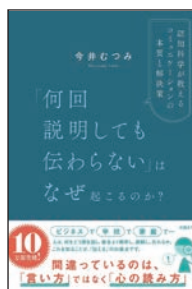
学生を対象に「これって差別じゃないの?」「なんだか不平等な気がする」「これは無意識のバイアスかも...」そんなふうに思ったエピソードを募集します。

回答用のQRコードを学内の複数箇所に掲示しますので、ゼミや講義の受講生にご案内ください。寄せられたエピソードは次回のニューズレターでもご紹介したいと思います。

一人一人がダイバーシティについて考えるきっかけになれば良いと思います。

《書籍紹介》

『「何回説明しても伝わらない」はなぜおこるのか?』
今井むつみ 著



日経 BP
2024年5月

多様な人々との良好な関係性の構築には、コミュニケーションが鍵になります。しかし、書籍のタイトルが示すように「何回説明しても伝わらない」という経験や、「なんだか話が噛み合っていないな」と思うことは少なくありません。昨年の研修テーマ“無意識のバイアス”も要因の1つのようなので。本書では伝わらない理由を認知科学の視点から説明した上で、すぐに取り組める解決策も提示しています。

深谷 裕 (学長補佐：ダイバーシティ推進担当)

9月19日に佐賀大学で開催された「第15回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム」に参加してきました。九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムは、九州・沖縄アイランド女性研究者ネットワーク（通称：Q-wea）に参加する13大学で毎年開催されています。

今回のテーマは「私たちの“次の一手”九州・沖縄（ここ）から拓く女性研究者支援」でした。渡辺美代子氏（日本大学常務理事、元 JST 副理事）による基調講演では、「転機を迎えたダイバーシティ推進」と題して、渡辺先生のこれまでのご経験や各種データをご紹介いただきながら、日本が直面する危機・課題の解決のために、なぜ今ダイバーシティなのかについて分かりやすくお話いただきました。



シンポジウム後半には、Q-wea 参加大学の理事や副学長による二部構成のパネルディスカッションがありました。第1部は「学術分野におけるポジティブアクションとは」、第2部は「今、求められる研究者支援」がテーマでした。大学により教職員数、学生数、学部構成、予算規模等が異なるため、簡単に比較することはできませんが、各大学が女性研究者獲得と支援に向けて、オリジナルな取り組みをしていました。しかし、さまざまな事情により、なかなか成果につながりにくいというのが実際のようなのです。お互いに知恵を出し合いながら、継続的に取り組んでいく必要性を確認しました。



ダイバーシティ推進協力員からのメッセージ（第2弾）

青山 僚希
(学術振興課 教務第二係)

学術振興課では、日々の業務の中で、多様な背景を持つ学生や教職員と関わる機会があります。

協力員として、さまざまな人たちと接するうえで、どうすれば一人ひとりが孤立せずに、お互いを支え合いながら、課題解決に向けて取組めるかを考えていきたいと思っています。

松本 美穂
(学生支援課 就職係)

キャリアセンター職員として、多様な背景を持つ学生が自分らしく成長できる環境を提供することを目指します。

ダイバーシティ推進は、全ての学生が平等に機会を得られるようにするための重要な取り組みです。共に学び、支え合い、未来を切り拓く力を育てていきたいです。

宇都宮 未生
(学務課 学生係)

ひびきのキャンパス学生係は、学生への支援を行う部署であり、日々、いろいろな理由で、学生が窓口を訪れます。接していると、ダイバーシティの観点からも思わぬ気づきを得ることも多々あります。まずはよく聴くことを心がけ、業務に携わっていきたいと考えています。

インフォメーション

教職員の方々やその家族の方々で、心や体の問題について専門的な相談がしたいという方は、公立学校共済組合の相談事業をご活用ください。介護の悩みにも対応しています。詳しくは以下のQRコードから。

